

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 アルファグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 伸一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松浦 孝暢 TEL 03-5469-7300  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,898	△23.5	222	△51.8	253	△59.8	100	△84.5
2020年3月期第3四半期	15,559	△2.2	462	116.3	631	95.2	647	332.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 100百万円 (△84.5%) 2020年3月期第3四半期 647百万円 (332.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	17.72	—
2020年3月期第3四半期	114.57	114.54

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	8,523	4,431	52.0	784.00
2020年3月期	8,579	4,373	51.0	773.78

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,431百万円 2020年3月期 4,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	7.50	7.50

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお2021年3月期（予想）の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,203	△18.5	316	△30.5	360	△40.4	226	△61.7	40.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	6,962,400株	2020年3月期	6,962,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,309,766株	2020年3月期	1,309,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,652,634株	2020年3月期3Q	5,652,634株

（注）当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 一般的概況

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続く中、政府の各種施策により一部において持ち直しの動きが見られ始めたものの、再度の感染拡大により不透明な状況が継続しております。

このような経済情勢は当社グループの業績にも影響しておりますが、経費節減に努めつつ「STOCK」型の事業によりもたらされる継続的な収益を確保すると共に、将来の当社を支える収益基盤の構築のため、新規商材の開発にも取り組んでまいりました。中でもエネルギー利用状況のコンサルティングサービスに引き続き注力した結果として、後述の通り費用が先行して発生し利益が落ち込む結果となっているものの、顧客数の増加により収益への貢献も拡大していくことが見込まれます。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高118億98百万円(前年同四半期比23.5%減)、営業利益2億22百万円(前年同四半期比51.8%減)、経常利益2億53百万円(前年同四半期比59.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益1億円(前年同四半期比84.5%減)となりました。

## ② セグメント情報

## &lt;5Gマーケティング事業&gt;

5Gマーケティング事業におきましては、5G対応スマートフォン等の通信端末販売の代理店展開及び直営店舗での販売、並びに携帯電話販売ショップへスマートフォン等に精通した従業員を派遣する人材派遣を行っております。

5G対応の端末が普及し始め、一方で政府からの携帯電話料金値下げの要請を受けて、各通信キャリアから新料金プランが発表されるなど、市場は新たな局面へ移行しつつあります。そのような中で、新型コロナウイルス感染症拡大による影響により、携帯電話販売ショップでは時短営業、臨時休業や受付業務の制限等、活動の規模は縮小し、その結果として売上高が減少いたしました。一方で各通信事業者から新型コロナウイルス感染症対策に関する支援金が支給されたこともあり、利益においては大きな影響はありませんでした。また、スマートフォンアクセサリ専門ショップを運営する子会社の全株式を前期に譲渡し、出店費用等が発生しなくなったため、前年同四半期と比べて営業利益が増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は68億13百万円(前年同四半期比30.7%減)、営業利益1億95百万円(前年同四半期比18.8%増)となりました。

## &lt;B to Bイノベーション事業&gt;

B to Bイノベーション事業におきましては、現在の軸はオフィス文具通販の代理店展開ですが、緊急事態宣言解除後も営業活動の縮小や企業におけるテレワークの実施が継続しているため、オフィス文具の需要が減少したことなどにより売上高が伸び悩む一方で、販売促進費を抑えるなど経費節減に取り組み利益の維持に努めました。また、これまで構築した法人顧客網を活用するため、事業者向けの新商材や新サービスの開発にも取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は39億89百万円(前年同四半期比12.9%減)、営業利益2億44百万円(前年同四半期比16.8%増)となりました。

## &lt;環境サステナ事業&gt;

環境サステナ事業におきましては、LED照明機器の販売・レンタルを軸に、電力の小売やウォーターサーバーで使用するウォーターパックの販売、保有ソーラーパークを活用した太陽光発電などを展開しております。

現在の主力であるLED照明機器の販売・レンタルにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑みて、主要な顧客層である医療法人に対して、可能な限りの対策を講じた上で営業活動を継続してまいりました。そのような中で、2020年7月に実施されたさいたま市立小学校(高砂小学校外28校)の照明LED化事業に関する一般競争入札(総合評価方式)において、当社の事業提案が採択され、特に機器性能等における市場での優位性を示す結果となりました。現在は、堅調な収益確保のため、レンタル開始に向けて順次設置工事を進めております。

また、従来の太陽光発電や電力小売、ウォーターパックの販売により堅調に収益を確保しつつ、エネルギー利用状況等に関するコンサルティングサービスを今期より開始いたしました。顧客における営業活動の縮小による収益減少への不安が経費節減への取り組みに対する動機付けが追い風となったこともあり、当初の計画以上に営業活動の展開に注力し、報酬を先行して支払ったため当期においては利益が落ち込む結果となっておりますが、獲得した顧客の数は順調に増加しており、今後の当社グループを支える収益基盤の1つになることを見込んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11億5百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業損失2億16百万円(前年同四半期は営業利益88百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は85億23百万円で、前連結会計年度末に比べ55百万円の減少となりました。主な増加は、商品の増加93百万円、現金及び預金の増加88百万円であり、主な減少は、売掛金の減少1億33百万円、顧客関連資産の減少1億23百万円等であります。

負債は40億91百万円で、前連結会計年度末に比べ1億13百万円の減少となりました。主な減少は、長期借入金の減少1億27百万円であります。

純資産は44億31百万円で、前連結会計年度末に比べ57百万円の増加となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億円であり、主な減少は、配当金の支払42百万円でありま

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月15日公表の業績予想から修正はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,744,991	3,833,151
売掛金	1,071,947	938,223
リース債権及びリース投資資産	87,840	362,271
商品	587,081	680,269
貯蔵品	15,500	12,292
その他	828,212	647,742
貸倒引当金	△3,154	△2,367
流動資産合計	6,332,419	6,471,582
固定資産		
有形固定資産		
土地	152,736	152,736
その他	763,159	629,868
有形固定資産合計	915,895	782,604
無形固定資産		
顧客関連資産	340,666	217,472
その他	23,943	25,683
無形固定資産合計	364,609	243,155
投資その他の資産		
差入保証金	760,703	784,546
その他	378,325	394,741
貸倒引当金	△172,643	△152,966
投資その他の資産合計	966,385	1,026,322
固定資産合計	2,246,890	2,052,082
資産合計	8,579,310	8,523,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,159,762	1,303,583
短期借入金	570,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	552,514	565,135
未払法人税等	89,762	85,774
賞与引当金	16,087	14,879
その他	717,108	580,771
流動負債合計	3,105,234	3,120,144
固定負債		
長期借入金	864,245	736,888
役員退職慰労引当金	69,074	71,099
その他	166,861	163,867
固定負債合計	1,100,180	971,854
負債合計	4,205,415	4,091,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,734	728,734
資本剰余金	688,336	688,336
利益剰余金	3,841,963	3,899,733
自己株式	△885,139	△885,139
株主資本合計	4,373,894	4,431,665
純資産合計	4,373,894	4,431,665
負債純資産合計	8,579,310	8,523,664

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,559,294	11,898,999
売上原価	12,698,316	9,729,226
売上総利益	2,860,978	2,169,772
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	2,648	52,207
繰延リース利益繰入額	207,307	144,432
売上利益調整額	△204,658	△92,225
差引売上総利益	2,656,320	2,077,547
販売費及び一般管理費	2,194,223	1,854,629
営業利益	462,096	222,917
営業外収益		
受取利息	1,971	2,504
受取手数料	145,684	10,571
助成金収入	17,869	21,398
その他	20,361	8,049
営業外収益合計	185,888	42,524
営業外費用		
支払利息	14,006	8,831
その他	2,548	3,059
営業外費用合計	16,555	11,891
経常利益	631,429	253,550
特別利益		
固定資産売却益	436	4,161
関係会社株式売却益	232,805	-
その他	13,003	-
特別利益合計	246,245	4,161
特別損失		
固定資産売却損	762	415
固定資産除却損	7,715	153
減損損失	-	7,261
特別損失合計	8,478	7,830
税金等調整前四半期純利益	869,196	249,881
法人税、住民税及び事業税	190,100	154,011
法人税等調整額	31,484	△4,294
法人税等合計	221,585	149,716
四半期純利益	647,611	100,165
親会社株主に帰属する四半期純利益	647,611	100,165

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	647,611	100,165
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	647,611	100,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,611	100,165
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	5G マーケティング 事業	B to B イノベーション 事業	環境サステナ 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	9,838,288	4,573,896	1,147,109	15,559,294	-	15,559,294
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	7,772	5,182	12,955	(12,955)	-
計	9,838,288	4,581,669	1,152,292	15,572,249	(12,955)	15,559,294
セグメント利益	164,268	209,156	88,672	462,096	-	462,096

(注)1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	5G マーケティング 事業	B to B イノベーション 事業	環境サステナ 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	6,813,554	3,984,440	1,101,004	11,898,999	-	11,898,999
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	5,311	4,610	9,921	(9,921)	-
計	6,813,554	3,989,751	1,105,615	11,908,921	(9,921)	11,898,999
セグメント利益 又は損失(△)	195,073	244,340	△216,496	222,917	-	222,917

(注)1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、「モバイル事業」を「5Gマーケティング事業」に「オフィスサプライ事業」を「B to Bイノベーション事業」に「環境商材事業」を「環境サステナ事業」に名称変更をいたしました。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称で開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「5Gマーケティング事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間において7,261千円であります。